

愛労連臨時大会あいさつ

2022年12月18日
愛労連議長 西尾 美沙子

組合員のみなさん。日ごろからの仕事、組合活動に心より敬意を表します。

政府は一昨日、「国家安全保障戦略」など安保関連三文書の改訂を閣議決定し敵基地攻撃として集団的自衛権を可能とするなど、暴挙に出ました。

5年間で43兆円の軍事費増額が実行されれば世界第3位の軍事大国です。財源確保のために復興予算1270億円、国立病院の積立金にまで手をつけて、その上に、国民負担増で法人税、所得税、たばこ税の引き上げ、子育て支援の財源議論は棚上げの軍事優先の方向性です。そもそもこれまでに、生活保護費の引き下げ、年金の引き下げ、75歳以上の医療費窓口負担の2割への引き上げが行われてきました。今後は介護保険制度の大改悪、急性期病院の大縮小などが企てられています。

安保三文書の改訂と閣議決定は実質的な改憲ともいえ、労働者国民の要求から真っ向から対立しています。岸田首相は、『ミサイルや戦闘機も購入できるようにすることだ』と強気で述べ、国民・世界の人々の命を危険にさらすことに、怒りに震え、抗議します。

いま、労働者・国民は、物価高騰、燃料高、円安の影響が生活を直撃しています。もともと大学生の2人に1人が奨学金という借金を背負い40歳過ぎまで学費の返済がある。食糧支援に列ができる。子どもの7人に1人が貧困世帯。女性労働者の半数が非正規労働者。誰もが貧困と隣り合わせです。

くらし・教育の充実こそが喫緊ではないでしょうか。

権力者をしばるための憲法が、最高法規の憲法を無視する政権に、この国の舵を任せることはできません。憲法と平和、くらしも未来も壊す増税と大軍拡にきっぱり反対し、旧統一教会と癒着してジェンダー平等も阻む岸田政権は退陣を！の声を上げ、2月知事選挙、4月いっせい地方選挙で政権を変えようと職場・地域で行動していきましょう。

2月5日愛知県知事選挙は、尾形けいこさんが立候補を決意され、愛労連も推薦を決定しました。革新県政の会に結集し、労働者・くらしの要求の実現、大企業・大型事業優先の県政ではなく、憲法をいかに県民が主人公の県政に変えるために、愛労連が先頭に立って頑張っていくましよう。

愛労連は秋の拡大数で昨年を上回る仲間が増えました。

愛労連の仲間の一人ひとりの要求を実現したいという思いを行動につなげていくことによってこそ、要求実現の道筋がみえてきます。仲間を増やして、仲間の力で春闘勝利、知事選勝利をつかんでいきましょう。

『子どもたちにもう1人保育士を！』このプロジェクトは自治労連・福保労ら愛知の仲間が、コロナを体験し、子どもたちにあるべき保育の思いをあきらめないとスタートし、配置基準の引き上げへ大きな高まりをつくり仲間を増やしています。介護・障害職場の『なくせワンオペ！』、エッセンシャルワーカーの大幅賃上げの運動も目を見張る運動を行っています。昨年春闘は、ベアにこだわり全国一般ナトコ支部がベア1200円、生協労連がベア6000円を勝ち取りました。どれもが愛労連の宝の運動です。“仕方ないからあきらめない”、“変えていきたい”という情熱が、行動する力へと突き動かしています。

これらの運動が、愛労連組合員、最高時7万の峰への展望につながります。

仲間を増やして春闘に勝利しましょう。

世界では、イギリス、アメリカ、フランス、ドイツ、インド、韓国など労働者・国民はストライキを行い立ち上がっています。

23春闘、今が大幅賃上げ・全国一律制1500円実現の好機です。

労働組合が立ち上がってこそ、切り拓けることは歴史が証明しています。

仲間と運動を強めていきましょう。

以上、あいさつとします。ありがとうございました。